

科学・技術・宇宙応用に関する日米会議
(JUSTSAP日本協会主催、当財団後援)
(Japan-US Science, Technology and Space Application Program)
開催期日:平成21年11月8～11 開催場所:米国ハワイ

東京工業大学 教授 石川正道

JUSTSAP (Japan-US Science, Technology and Space Application Program) は、日米間を中心とした科学・技術・宇宙応用に関する問題および新しい宇宙の利用に関し、双方の産・学・官が一堂に会して、忌憚のない自由な意見を交換し、横断的な協力体制のもとに、提案活動を行うことを目的としたプログラムです。毎年1回、日米本土の中間地点であるハワイにて総会、講演会およびワーキンググループ活動を実施しており、平成21年度は、11月8日(日)から11月11日(水)にわたり、ハワイ島コナにおいて開催いたしました。第19回ハワイ会議は規模を縮小しつつも、参加者36名(日本側:12名、米国側:24名)にて予定通り開催することができました。

本年の会議では、日米両国ともに新政府ベースでの新しい宇宙戦略指針のもと、活発な活動を見せる中国やインドなどを視野に入れた、“環太平洋連合”に焦点を当てた活動の再構築が、議題として取り上げられました。具体的には、日米を機軸にした新しいプロジェクトの優先課題として、Energy Independence (宇宙エネルギー)、Commercial Space Development (宇宙商業利用)、Earth Observation (地球監視)、及びSpace Exploration (新宇宙開発)の4領域について、今後さらに環太平洋の諸国を巻き込んだプロジェクトの可能性を活発に議論する場となりました。これらの議論の結果、JUSTSAPから、日米のみならず太平洋地域の国々(カナダ、オーストラリア、ブラジル、韓国、中国、ロシア、インドなど)との連合組織“PISA (Pacific International Space Alliance)”へと名称を変更し、さらなる活動の継続を議論していくことが申し合わされました。これによりJUSTSAPは、各国の宇宙戦略の変化に対応すべく、環太平洋に基盤をおく新たな組織に向けて舵を切ることとなりました。

活動に関する詳細な内容は、以下のJUSTSAPウェブサイトにて閲覧が可能です。
<http://justsap.org/category/2009-symposium>

本プログラムの運営には、財団法人宇宙科学振興会からご支援をいただきました。あらためて御礼申し上げます。

